

STAGE+を楽しむ(54)(HP 収載)
—ブゾーニ国際ピアノコンクール—

1. 始めに

前報(53)に引き続き、STAGE+のブゾーニ国際ピアノコンクール 2023 : グランド・フィナーレの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ブゾーニ国際ピアノコンクール 2023 : グランド・フィナーレの演奏を選びました。

ライブ配信 2023 年 9 月 3 日 17:00

ブゾーニ国際ピアノコンクール 2023 : グランド・フィナーレ

ボルツァーノ・コムナーレ劇場

1. 再配信 2023 年 9 月 4 日 3:00

2. 再配信 2023 年 9 月 4 日 9:00

イタリア・ボルツァーノから、第 64 回ブゾーニ国際ピアノコンクールのグランド・ファイナルをライブ配信。日本人山崎亮汰を含む 3 名のファイナリストが、アルヴォ・ヴォルメル指揮ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団と共演します。受賞者は、演奏後審査員より発表されます。ファイナリスト名や演奏作品の詳細は決まり次第掲載いたします。

ソリスト:

アルセーニー・ムン (ピアノ)、アンソニー・ラティノフ (ピアノ)、
山崎亮汰 (ピアノ)

演奏:

ボルツァーノ・トレント・ハイドン管弦楽団

指揮:

アルヴォ・ヴォルメル

曲目:

セルゲイ・プロコフィエフ ピアノ協奏曲第 3 番ハ長調 op. 26

アンソニー・ラティノフ(ピアノ)

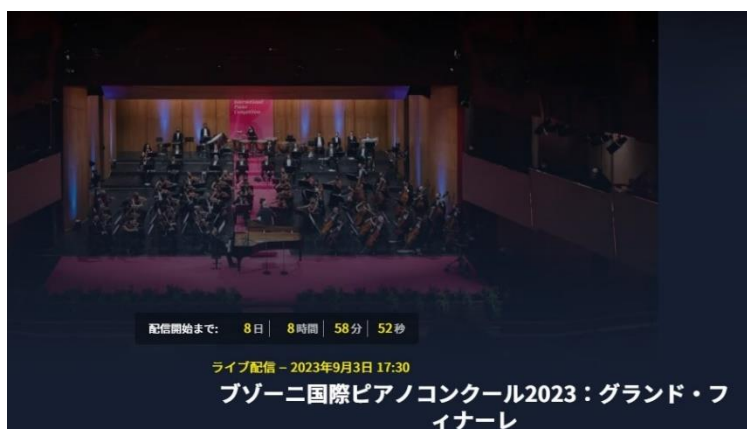
セルゲイ・ラフマニノフ パガニーニの主題による狂詩曲 op. 43

アルセーニー・ムン(ピアノ)

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー ピアノ協奏曲第 1 番 op. 23

山崎亮汰(ピアノ)

以上、3名のファイナリストは、[研究室日誌9月2日](#)で報告したセミファイナルの6名の中から選ばれています、



3. 試聴の経過

LAN iSilencer の導入(8)と LAN iSilencer の導入(9)の結果から 1 個目の LAN iSilencer はルーターの LAN 端子の空きポートにセットし、もう 1 個はスイッチングハブから PC の信号ラインに使用しています。

グランド・フィナーレの前のセミファイナルについては、[研究室日誌9月2日](#)で報告しています。セミファイナルの6名の中から3名が選ばれ、グランド・フィナーレの演奏に臨んでいます。

2023年9月3日 17:00のライブ配信を試聴しましたが、配信は安定していました。最初に主催者側からイタリア語他の挨拶とファイナリスト以外の入賞者の紹介があつて演奏が始まりました。

アンソニー・ラティノフによるプロコフィエフのピアノ協奏曲第3番は、初めて聴くものですが、ラティノフは切れ味よく、詩情豊かに弾き切っています。

アルセーニー・ムンによるラフマニノフのパガニーニの主題による狂詩曲は、お馴染みの曲で、軽快に弾き切っています。

山崎亮汰によるチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番は、これもお馴染みの曲で、現在も音楽院で研修中ですが、終章の速いパッセージにも臆することなく挑戦していました。

3名のプロフィールについては早速記事もでていました。

<https://ontomo-mag.com/article/event/busoni-competition-final/>



演奏者ごとにピアノの入れ替えもあり、最後の演奏では、運びこんでからさらに調律も行われました。審査員の入退場や、どの席で聴いているかも分かりました。会場は映像から見ると歌劇場のようで、音響特性もよく、音質はライブ配信だけあって極めて良好で、ライブ感が満喫できます。





4. まとめ

以上の STAGE+配信は、追加の LAN iSilencer の効果も加わって、通常のコンサートと違い、コンクールの緊張感も含めてライブ配信の鮮度感を味わうことができました。ウイナーの演奏はいずれ公開されると思いますのでじっくり鑑賞します。

以上

【註】

ライブでは演奏のみの試聴でしたが、その後審査が別室で行われ、翌日の早朝の再配信で、その結果発表を見ることができました。審査員と関係者の紹介とビデオメッセージの後、受賞者の紹介があり、最後に審査員のスピーチがありました。受賞の順位は、アルセーニー・ムン、アンソニー・ラティノフ、山崎亮汰の順でした。

